

令和5年度 南区まちづくり推進事業事業計画



令和5年度 南区まちづくりの取組み

防災力の向上によるまちづくり

- 1 津波・高潮警戒地域防災計画作成支援事業
- 2 防災に強いまちづくり育成事業
- 3 南区区民防災会議開催事業

地域の課題・特性に応じたまちづくり

- 4 南区子どもの交通安全対策事業
- 5 終末期医療に関する啓発事業
- 6 口腔ケアに関する啓発事業
- 7 南区“いきいき”スポーツ大会等事業

ICTでつながるまちづくり

- 8 ICTでつながるまちづくり業

住民と行政の協働によるまちづくり

- 9 まちづくり人材育成事業
- 10 城南地域ブランド力向上推進事業
- 11 みんながつながる地域マップ作製事業
- 12 地域とつくるまちづくりイベント事業
- 13 地域資源活用事業
- 14 地域コミュニティづくり支援事業
- 15 地域緊急課題対応事業
- 16 南区まちづくり懇話会

1 津波・高潮警戒地域防災計画作成支援事業

2

目的

- ◆沿岸部の防災・減災対策の強化実現のため、飽田地区の地域と行政が共同で実効性のある避難計画（地区防災計画）を作成することで、被害軽減を図り防災力向上を図る。

内容

- ◆飽田地区の現状を整理及び地区住民とのヒアリングや検討会を実施し、飽田地区防災計画を作成することで災害に強いまちづくりを進める。

- ①地区の現状整理
- ②地区意向調査（ヒアリング）
- ③地区ルールの取りまとめ（ワークショップ等）
- ④地区防災計画の作成、周知



(参考) R4年度天明地区ワークショップ

2 防災に強いまちづくり事業

3

目的

- ◆南区では、地域防災組織として校区防災連絡会、避難所運営委員会、自主防災クラブが結成されている。南区在住の防災リーダー（防災士）を育成し、各防災組織等と連携させることで、双方の活動の活性化を図り、地域防災力の向上に繋げる。

内容

※R4年度
防災組織等の活性化に向けて、防災士と区役所が協力・連携しながら地域へ防災講座や防災訓練等の支援を実施していくための研修を実施した。



R4年度 防災士研修会

R5年度は、R4年度に研修を受講した防災士が、行政と協働で地域に対しての訓練・研修を実施し、地域防災力の向上に繋げるとともに、防災士の活躍の場を広げる。

3 南区区民防災会議開催事業

4

目的

- ◆ 基調講演や地域の優良事例について意見交換を実施することで各地域の効果的な防災訓練等の取組に繋げ、地域防災力の向上を図る。

内容

- ◆ 南区防災会議
対象者 : 南区校区防災連絡会、避難所運営委員会、消防団等
開催時期 : 8月頃 (予定)
テーマ : 避難所運営 (予定)
内 容 : (1) 有識者による避難所に関する講演、
先進的な取組を実施している地区の事例発表等
(2) 南区防災会議
南区としての防災力向上のための取組を決定する。



(参考) R4年度 南区区民防災会議

4 南区子どもの交通安全対策事業

5

目的

- ◆ 南区のキャラクターを活用した「止まれ」等の表示を視覚的に入れることで、学童の交通安全の意識を高め、南区のキャラクターの認知度上昇により南区としての一体感の醸成を図る。

内容

- ① 南区のキャラクターと「止まれ」などの文字を一緒にプリントしたもの（グラフィックサイン）を通学路等の横断歩道付近に設置する。
- ② 通学路の安全対策としてスクールゾーンのライン入れ等を実施する。（※②は土木センター既存予算を活用）



南区役所 前



南区役所 東側の横断歩道と通学路



5 終末期医療に関する啓発事業

6

目的

- ◆ 南区地域包括ケアシステム推進方針に基づく「終末期医療」の啓発を重点的に行うことで、広く区民への理解度を深めることを目的とする。

内容

- ◆ 国が定めた人生会議の日（11/30）に合わせて、区民に対して啓発活動を行うため、イベント（講演等）を開催

■ 南区独自の医療・介護連携実務者会議において企画したイベントを中心とした「終末期医療」と「医療と介護の連携の重要性」の啓発を引き続き実施。

■ イベントを中心とし、圏域ごとの小単位でのセミナー等による啓発活動を行う。（R5年度 富合、城南）

※ イベント：人生会議セミナー（R3年度 飽田、天明、R4年度 幸田、熊本南で実施）
：第3回南区人生会議の日

6 口腔ケアに関する啓発事業

7

目的

- ◆ 区民の口腔衛生に対する関心を高めるとともに、地域の歯科医療機関や企業と連携し、区民の歯や口の健康づくりの活性化を図る。

内容

- ① 区内の企業（働き世代への啓発）に出向き、歯科講話や口腔ケア体験等を実施。受講者の歯みがき定着率の向上を図るため、事後アンケートを定期的に行う。
- ② 受講者の歯周病健診及びフッ化物塗布
- ③ むし歯や歯周病予防をテーマとしたオンラインセミナーの開催
- ④ 区民の健康づくりに関する取り組みが活性化するよう市歯科医師会や主務課に南区で先行した働き掛けを行う。
- ⑤ 歯周病予防は、糖尿病等全身に影響を及ぼす病気を予防する事も相乗効果が高いことから併せて啓発する。

7 南区“いきいき”スポーツ大会等事業

8

目的

- ◆ 区民一人ひとりの健康増進とともに、人と人との交流を深めることで、南区民としての一体感の醸成に繋げる。
- ◆ 自然に触れ、自然の大切さを学ぶ。

内容

- ◆ 南区いきいきスポーツ大会
南区管内の拠点的なスポーツ施設等を利用し、どなたでも参加しやすい種目を検討し開催する。（競技種目は予定）
 - ① ウォークラリー：約150名 10月頃
 - ② グラウンドゴルフ：約200名 12月頃
- 【主催】南区親善スポーツ大会実行委員会
（構成員：南区内校区体育協会（21団体）、南区役所）
- ◆ 穴掘り大会（予定）
南区管内の商工会や青年協議会等で結成された「南区を自然でつなぐ実行委員会」で、河川敷を活用した穴掘り大会を開催することで南区の特徴である豊かな自然に親しむ機会を創出する。

目的

- ◆ 高齢者のデジタルディバイド対策によるデジタル化の促進及び世代間交流を図る。
- ◆ オンライン申請を支援することで、自治会等が円滑で効率的な補助金等の申請ができ、市民サービスの向上につなげる。

内容

- ◆ 高齢者向けスマホ等講座
R4年度に引き続き、各まちセンで「初めてのスマホ教室」を開催する。
①体験講座・・・スマホに触れ興味を持ってもらう。
②活用講座・・・基本的な操作方法や便利な機能(アプリ)について学ぶ。
【対象者】 スマホを持っていない、又は、受講を希望する高齢者
【講師】 地域の大学生等
【会場】 公民館、地域コミセン等
- ◆ 自治会等補助金デジタル申請サポート講座
R4年度から実施された自治振興補助金等のデジタル申請に際し、支援依頼があった自治会等に対して、デジタル申請サポート講座を開催する。

目的

- ◆ まちづくりに関心のある市民を発掘・育成し、地域間交流の機会を提供することで、新たなまちづくり団体の創出や自主自立のまちづくり活動への支援を図る。
- ◆ 地域担当職員がさらに地域コミュニティに入り込み、地域の課題解決に向けた働きかけを行うために、ファシリテーション能力のさらなる向上を図る。

内容

- ◆ まちづくりワークショップ
まちセン単位でワークショップを開催し、参加者相互のつながり、まちづくり活動に関する意識の向上を図る。
【対象者】まちづくりに興味のある住民・企業
- ◆ ファシリテーションスキルに関する研修及び講座
年度中3～4回で完結する連続した研修及び講座を開催する。
【対象者】
 - ・ 職員：地域団体の中に入り込む職員「地域担当職員」、「その他受講を希望する職員」
 - ・ 市民：会議やワークショップ等まちづくりに係る対話や議論を行う市民「各種地域団体活動者」、「その他希望者」

10 地域ブランド力向上推進事業(城南町地域)

11

目的

- ◆まちづくりを担う人材育成
- ◆官民協働のまちづくりの推進
- ◆地域特性を活かしたまちづくりの推進
- ◆持続的、自発的な地域活動の推進
- ◆地域情報の発信

令和5年度の取組み

1 火の君カフェ事業【継続】

まちづくりの拠点となるプラットホームの構築事業。火の君カフェ
毎月第3土曜日19:00~ まちづくりセンター会議室

2 まちづくり人材育成・発掘事業【拡充】

先進地視察研修(南小国町まちづくり課、黒川温泉観光旅館協同組合等)※宿泊費用は個人負担
地元企業等とのワークショップ(アイシン九州、五木食品、日豊食品、肥後銀行等)

3 地域ブランド力向上実行委員会負担金

(1) nansama城南事業【継続】

城南町の魅力発信、地域活性化を目的に、歴史・文化、農業、産業、観光等を活用したイベント等を開催予定。

(2) 火の君商品開発事業【拡充】

地元の農家、飲食店、パン屋、企業等と連携し、城南町の資源を活用した更なる商品開発により、地域ブランドの構築を図る。R5年度は、城南町産のバニラビーンズを使用した商品開発を予定。

(3) 婚活イベント事業【拡充】

少子化対策、定住人口の誘引、地域活性化を目的とした婚活イベントを開催。R5年度は、城南町・富合町の観光名所を巡る婚活バスツアーを企画し、女性参加者へ城南町・富合町でのライフスタイルの選択技も提案。

(4) 火の君お助けMAP更新事業【継続】

城南町にお住いになる方々と県内外に地域の魅力を発信するとともに、更なるシビックプライドの醸成を図るため「火の君初心者マップ」を毎年更新。

(5) 広報事業【拡充】

TV、新聞、SNS等を活用し広報の更なる強化を図り、地域の魅力を県内外に広く発信していく。



11 みんながつながる地域マップ作製事業

12

目的

- ◆ 地域住民が自ら地域を探索し、地域の魅力を再発見する機会を提供することで、地域愛を深める。
- ◆ 地域ので作り上げたマップの活用や写真というツールを通じた世代間交流等、地域コミュニティの活性化を図る。

内容

※ 【R3～継続】 Instagramによる情報収集・発信
地域の方に美しい自然景観、懐かしい田園風景、見過ごしがちなまちの歴史など、地域の魅力を浮き彫りにする写真を撮影してもらおう。地域の魅力情報を発信する。

※ 【R4】 地域マップの作成
地域の魅力情報を地図に落とし込んだ地域マップを作成。



- ◆ 「地域マップ」の活用【R5～】
R4年度に作成した地域マップのHPで公開とInstagramでの広報。地域や学校への提供とまちセンでの配布。
- ◆ 地域マップ2（防災）の作成【R5～】
地域マップのバリエーションとして防災をテーマとしたマップを地域とともに作成し、防災減災のまちづくりに向けた取組に活用する。

目的

- ◆ 住民同士がつながり（世代間交流、校区間連携）、地域と官民がつながり（協働によるまちづくり）、まちづくり活動を将来につなげる（次世代の担い手育成）。
- ◆ 自分たちの住む地域の魅力発見による地域愛の醸成、地域コミュニティの活性化を図る。

内容

- ◆ 「アウトドア×防災」イベント（校区の垣根を超えた連携）
地域活動に関心のある民間事業者・地域（若手の地域住民等）・行政が連携し、企画運営を行い、イベントを開催。
 - ①企画会議（6月、8月頃）
地域（防災士等）、民間事業者（イオンタウン西熊本、コジマ×ビックカメラ等）の参加を想定。
 - ②イベント（11月頃）
内容：災害時に役立つアウトドア体験、ワークショップ等
場所：刈草中央公園
- ◆ 二次元コードを活用したクイズラリー
地域団体と協働し、校区内10箇所程度のチェックポイントにまつわるクイズを作成。参加者は各ポイントに設置された二次元コードを読み取り、クイズに答えながらまち歩きを行う。※当日運営は自治会等へ協力を依頼。
 - ・実施エリア：日吉東校区
 - ・参加者：校区内の児童やその保護者等
 - ・優秀賞：地域団体等からの協賛品

目的

- ◆ 特産品や伝統文化を活かしたイベントの実施により、農水産業や伝統文化への関心を高める。
- ◆ 次世代を担う子どもたちが親子で“体験”する機会を提供することで、食農教育の推進や、地域の魅力発掘・再発見を生み出す。

内容

◆ 概要

- ①南区の特産品（トマト・なす・はまぐり等）の農漁業体験ツアー（植え・収穫・販売・調理など）
- ②南区歴史伝統文化体験ツアー（史跡めぐり、お寺でプチ修行体験、伝統工芸品作り体験など）

【対象者】 南区在住の小中学生の親子

【時期】 ①6月 ②10～12月（予定）

【講師】 ①南区管内の農家の方、こども食堂
②地域ボランティアガイド、お寺の住職、工芸専門家など

【場所】 ①収穫体験：天明地区、料理教室：南部公民館
②くまもと工芸会館など

【定員】 親子30名×2回

目的

- ◆地域の課題解決や、地域コミュニティの活性化に取り組む団体に対して、その費用の一部を助成することで、そうした活動の活性化と新たなまちづくり団体の育成を図る。

内容

- ◆地域コミュニティ形成や課題解決を目的とした地域の自主的事業に対する助成

【対象団体】

- (1) 町内自治会
- (2) 校区自治協議会及びその構成団体
- (3) 南区内で事業を実施する実行委員会等
- (4) 特定非営利活動法人
- (5) 南区内で自主自立まちづくり活動事業を実施する団体

【補助率及び補助金額】

- 上記(1)(2)
初年度のみ 補助対象事業費×1/2 (2万5千円～30万円)
- 上記(3)～(5)
初年度：補助対象事業費×2/3 (10万円～40万円)
2年目：補助対象事業費×1/2 (7万5千円～30万円)
3年目：補助対象事業費×1/3 (5万円～20万円)

目的

- ◆突発的に発生した地域課題、地域ニーズに対して、迅速に対応することで、まちづくりの推進を図る。

内容

- ◆次年度予算を編成して課題を解決するのではなく、課題が出てすぐに解決することで地域のまちづくりの機運を逃さず活動につなげ、自主自立のまちづくりを支援する。

(R4年度実績)

- ・幸田まちづくりサロン等の講師謝礼に係る報償費

目的

- ◆ 区民、地域団体等との「協働」によるまちづくりを推進するために、区の特性を生かした魅力あるまちづくりに関する事項について協議する。

内容

- ◆ 第6期まちづくり懇話会委員の選定
- ◆ 年4～5回開催（予定）
 - ・ 区内視察
 - ・ 南区まちづくり推進事業に関する意見交換
 - ・ 次期総合計画、まちづくりビジョン(仮)に関する意見交換
 - ・ 大学生を交えた意見交換